

令和3年度第1回 土木計画学研究委員会 議事録

日時：令和3年6月5日（土）12：10～13：25

場所：ZOOM

【出席者】

委員長：兵藤哲朗（東京海洋大）

副委員長：白水靖郎（中央復建）、高橋清（北見工業大）

幹事長：藤井聡（京都大）

学術小委員会：土屋哲（鳥取大）

大会運営小委員会：秀島栄三（名古屋工業大）、岸邦弘（北海道大）、西内裕晶（高知工科大）、日野智（秋田大）

小委員会委員長：吉田長裕（大阪市立大）、秋山哲男（中央大）、藤原章正（広島大）、加藤博和（名古屋大）、安間匡明（大和証券）、柴崎隆一（東京大）

小委員会副委員長：菅原宏明（八千代エンジニアリング）

小委員会幹事長：石倉智樹（東京都立大）、神田佑亮（呉高専）、青野貞康（計量計画研究所）

委員兼幹事：伊地知恭右（北海道開発技術センター）、岡英紀（計量計画研究所）、楽奕平（芝浦工業大）、川崎智也（東京大）、小池淳司（神戸大）、鈴木春菜（山口大）、田中皓介（京都大、議事録）、泊尚志（東北工大）、松本浩和（地域未来研）、吉城秀治（福岡大）、Jan-Dirk Schmoecker（京都大）

議事

1. 委員長挨拶
2. 前回委員会の議事録確認【資料2】

審議事項

3. 委員の交代について（藤井）【資料3】

報告事項

4. 学術小委員会からの報告（佐野・土屋）【資料4】
5. 2021年春大会の実施状況について（岸）【資料5】
6. 2021年秋大会の準備状況について（秀島・日野・吉田）【資料6】
7. 2022年春大会の準備状況について（秀島）
8. 幹事会からの報告
 - ① 研究小委員会について（松本）【資料7-1, 7-2】
 - ② コロナ関連調査データについて（田中）【資料8】
 - ③ 土木学会論文集特別企画「土木計画学：政策と実践」および同分冊準備状況（藤井）【資料9】
 - ④ 令和2年度予算執行状況（藤井）【資料10】

- ⑤ 活動度評価結果および予算配分（藤井）【資料 11】
 - ⑥ 全国大会幹事会セッションについて（小池）【資料 12-1, 12-2】
 - ⑦ IP メール移行について（泊）【資料 13】
 - ⑧ その他
9. その他
10. 閉会挨拶

【議事録】

1. 開会 委員長挨拶

兵藤委員長より挨拶がなされた。

2. 前回委員会の議事録確認【資料 2】

藤井幹事長より前回委員会の議事録確認依頼があり、承認された。

【審議事項】

3. 委員の交代について【資料 3】

藤井幹事長より R2 年度からの新幹事の紹介がなされた。

4. 学術小委員会からの報告【資料 4】

土屋学術小委員会幹事長より、D3 特集号 Vol.38 の査読状況が報告され、2021 年 4 月 20 日に出版されたことが報告された。また、委員の交代および、Vol.39 のスケジュール（6 月 7～18 日：投稿期間、10 月下旬：一次判定結果の通知、11 月 19 日：修正論文の提出期限、12 月下旬：最終判定結果の通知、2022 年 4 月：刊行予定）が報告された。

5. 2021 年春大会の実施状況について【資料 5】

岸大会運営小副委員長 より、2021 年春大会の実施状況が報告された。参加者は少なくとも 1193 名（＝投稿論文数 256 編(口頭発表 185 編、ポスター発表 71 編)+聴講参加者 937 名(6 月 2 日申し込み時点)) であり、ポスターセッションを Spatial Chat で試行し、大きなトラブルなく実施できたことが報告された。

6. 2021 年秋大会の準備状況について【資料 6】

秀島大会運営小委員長より、準備状況について報告がなされた。2021 年秋大会は 12/3(金)-5(日)にオンラインにて開催する。3 日(金)は交通工学研究会および JST シンポジウムも開催されるため注意が必要である。現地の吉田樹准教授(福島大学)の協力を得て準備を進めており、感染状況によっては一部（パネルディスカッションなど）を現地開催にする可能性もあることが報告された。

7. 2022年春大会の準備状況について

秀島大会運営小委員長より、広島大学での開催を予定していることが報告された。開催方法については、感染の様子を見ながら検討していく。

8. 研究小委員からの報告

① 研究小委員会について【資料 7-1, 7-2】

松本幹事より、各研究小委員会の活動状況が報告された。新型コロナの影響で、シンポジウム等の活動が低調になってはいるものの、それぞれに活動が進められている。

「革新的技術導入における合意形成研究小委員会」の新規設置が審議され承認された。

② コロナ関連調査データについて【資料 8】

田中幹事より、計画学コロナ調査の結果、計画学 COVID-19 セミナーの実施状況、土木学会論文集 D3 COVID-19 特別企画の進捗について説明がなされた。コロナ調査およびセミナーは、今後の継続的な実施が検討されることとなった。

③ 土木学会論文集特別企画「土木計画学：政策と実践」および同分冊準備状況【資料 9】

藤原準備小委員会委員長より設置趣旨が説明された。藤井幹事長より、分冊の設置スケジュール（R3年6月7日～18日に投稿受付）、査読体制（準備編集小委員のほか査読委員を設置）、委員構成（査読委員は募集中）、などが説明された。

④ 令和2年度予算執行状況【資料 10】

藤井幹事長より説明がなされ、計画学研究委員会の予算は、現地委員会等が実施できず移動費等の支出が少なかったこと、コロナ調査に多くを支出したこと、最終的にはコロナの特例処置により翌年度へ98万円が繰り越されることが報告された。また、JRAIL小委員会で決算が黒字となり、これも次年度へ繰り越されることが報告された。

⑤ 活動度評価結果および予算配分（藤井）【資料 11】

藤井幹事長より説明がなされ、委員会全体での活動評価はAランクと認定され、2021年度予算が配分されたことが報告された。

⑥ 全国大会幹事会セッションについて（小池）【資料 12-1, 12-2】

小池幹事より、R3年度の全国大会で、幹事会セッションを開催する予定であることが報告された。併せて、2020年度会長プロジェクトのパンデミック特別検討委員会の提言についても全国大会にて発表がなされることが報告された。

⑦ IP メール移行について（泊）【資料 13】

泊幹事より【資料 13】に基づき、メーリングリストの移行について説明がなされた。現在のサービスが終了する 6 月末までに移行の必要がある。特集号論文投稿期間終了後の 6/20～30 ごろに移行する予定であることが報告された。

9. その他

藤井幹事長より、次年度の幹事（執行部）の紹介がなされた。副委員長は、白水靖郎副委員長から田名部淳氏（地域未来研究所）へ、幹事長は藤井聡幹事長（京都大学）から小池淳司教授（神戸大学）へ交代となる。

10. 閉会挨拶

白水副委員長から閉会の挨拶がなされた。

以上